

我れこそ蓮華なれ (一)

眞 繼 雲 山

文永八年九月、日蓮上人が龍の口に斬られんとして死一等を減ぜられ、佐度へ遠流せられ給ふたとき、高足日朝は、君の君の難に殉ぜんことを官に乞ふて、右腕を斬られ、土の牢に叩き込まれた。

上人、佐渡へ御出立の前夜、日朝に寄せ給ひしが有名な『土の牢御書』である。その文の書き出しは、『日蓮はあす佐渡の國へまかるなり』とある。卒直の文、至情の筆、天真の流露まことに

高月會 三月例会 (七)

猫の戀

拔き足に庇を傳ふ春の猫
 物干の向ふ明るしうかれ猫
 山寺の猫もさかりて梅の花
 棟上に日向ぼこする春のねこ
 半菰の屋の棟通るうかれねこ
 山寺やねこうかれして春を告ぐ
 戀ねこの相手は親子同志かな
 咄唔の聲絶えて姦まし春のねこ
 扉越しに出る竿長し戀のねこ
 何戀ゆる祇園林のうかれねこ

芝草 秀峰 胡生 城山 紅果 鐘樓 閑月 天仙 秀峰 耕影

まず、色心二法ともにあそばされたるこそ尊く候へ。

云々とある。上人の法華經觀の眼目は、この色心二法といふにある。色とは肉身のこと、即ち法華經の身讀をいふが上人の生命である。古今、法華經を讀むもの必ずしも日蓮上人に限らず疾く王朝佛の初期において天臺宗は法華經を正依としてゐるのであるが、それは法華經を心に護み冥想したものであり、冷やかにいへば法華經を中心とする一種の哲學でもあつたと思はれる。上人にいたりては色二法として肉身にて讀むことを眼目とせられた。法華經八卷廿八品がそのまゝ佛であり、我れこそ、その法華經だといふのである、それが即ち即身成佛だと示された。

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
 平看護婦會
 電話三〇七番

皆三二一

自動車は最新の三二二型!!!
 車体番號は福島三二番!!!
 そして電話は三二二番へ
 此度皆様の御愛顧と御後援を仰ぎタクシー部をもうけました。處女營業の事として地方皆様の御愛顧を得て進みたく従業員はヘビーを盡してサービスあるのみです。車は御氣に召す様にと三二年初春のトップを切つた最新型を整いましたから是非お召し下さい。

一九三三車と車体番號に因み
 三二番の電話を御利用下さい
 平町白銀町 加藤丈夫營業所
 不二タクシー
 主任 菅本 昇

花環 花籠 華蓮
 造花
 町川新町平
 屋本橋
 香三六一話電

通學服賣出
 新學期が近づいてまいりました。坊チャマ・嬢チャマの可愛らしい通學服を色々取揃へました。

◇男兒用
 小倉服.....0・85
 同特製.....1・70
 紺サージ.....3・40

◇女兒用
 紺セルセラー服...2・60
 綿セルセラー服...1・10
 防水マント種々取揃へて御座ひます。

おかや洋服店 平三 電203

磐城セメント社特約店
 久全屋瓦店
 磐城平町五丁目 電話九番九九番
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷はの生命なり

外科 門專 X
 科線光
 上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

小兒ノかん。むしニあかひき丸堀藥局
 平町二丁目
 電話三三六

東京十軒店久月の雛人形陳列
 お子様方が一年中で一番楽しみな桃のお節句が近づきました江戸の。檜舞臺日本橋の十軒店で永年御愛顧を受けて居ります弊店は今度初めて御當地へ参りました。是非一度御覽の榮を得たく御待申して居ります。今後永く御引立を頂き度くと存じますから値段と品質とで他店のまねの出來ぬ勉強を致します。

平町田町 (停車場前通り)
 平マールケツト内
 東京日本橋十軒店
 久月本店直營
 電話平局六〇三番

残る問題は？

組合長と常任理事

組合長は青沼氏再選し 常任理事には星野氏か

信用組合平庶民金庫總代會の理事改選は昨報の如く三森虎雄氏の

自發的

辭退及び阿部政右工門氏の病氣辭退に依りて山崎與三郎、諸橋久太郎の兩氏を補充し陣容の建直しを行つたが今後に残る問題は組合長及び常任理事の互選にて是れは何れ本月末の理事會に依つて決定さるゝ筈であるが

組合長

には何人も異論なく青沼隆太郎氏の再選を見る事確實であり又常任理事には星野清吉氏を最適任と爲すの聲が高いから結局夫々圓滿な

就任

を見るに至るであらうと尙ほ昨日の總代會で決定した信用評定委員の補欠は左記の如くであると井上貞次郎、吉田鎮政、遠藤松之助、松本愛三、

木炭品評

好成績

既報來月十五日より平町に催される濱三郡木炭同業組合の木炭品評會の申込は非

既に五百點

常任理事には星野氏か

常な好成绩で既に五百點に及んで居るので開期迄には千點を突破するだらうと見られ是れが準備に忙殺されてゐる

平商志願

約倍數

昨日締切

平商業學校にては昨日限り本年度入學志願者の願書受付を締切つたが志願者は募集人員百名に對して百八十

納税組合の

獎勵規程

平町で愈よ決定

來月より實施す

平町役場では各納税組合の成績向上の爲め過般來優良組合の獎勵金交付に關する諸規程を制定中であつたが此程愈々左記の如く決定したので來月一日より實施する事となつたと

るものには豫算の範圍内に於て獎勵金を交付す一、納税組合を設け届出たるものにして組合員二十名以上のもの 但し特別の事情あるものは二十名以下と雖も組合と看做す二、各種の國縣町税を通じて納期内に完納したる

第三條 獎勵金は設立獎勵金完納獎勵金の二種とし左の區分により交付するものとす

一、組合員二十名以上のもの 一戸につき金三十錢以内(設立獎勵金)但し設立後新に加入したる組合員あるときは前項により獎勵金を交付す

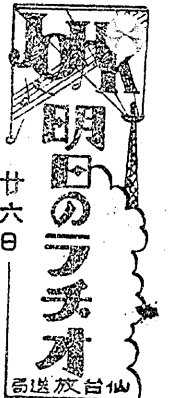
二、納期内に完納したる一組合 一戸につき金七十錢以内(完納獎勵金)三、納期内に完納したる組合員の各種告知書令書一通に付金二錢(同)四、納期内に完納したる組合の納額に對しては百圓に付金五十錢以内(同)

第四條 前條の獎勵金は毎年度未交付するものとす第五條 組合管理者にして五年以上勤続し成績優良なるものに對しては豫算の範圍内に於て本規程施行の日より五年毎に表彰を行ふことあるべし但し本規程施行前設立したる組合管理者に對しては其就任の日より起算す

第六條 本規程第二條第一項但書の組合に在りては町長の承認を受くるを要す

附則 一、納税管理人にして納税義務者二十名以上を管理するものあるときは本規程により獎勵金を交付す

二、本規程は昭和七年四月一日より之を施行す



報豫氣天

今晚は北の風曇り明日は北西の風晴れ

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 童話 桑原自疆
後七、三〇 記念講演「電氣週間の由來及趣旨について」電氣協會々長京都電燈株式會社々長田中博邊五郎次 第二席 一龍齋貞山
後八、三〇 河東節「七重八重花栗」山彦米子外

明日の部

後八、五〇 放送喜劇「笑ひ泣きの夫婦」曾我廻家五九郎外
後九、三〇 奉天より
後九、四〇 全國ニュース
前九、一〇 料理献立「ベイクト、ポテト」松本良雄
前一〇、三〇 家庭講座「毛織物の整理に就て」田中作市

看護婦試験

施行運動

是非平町でと

各方面が熱望

平町には二ツの産婆看護婦學校がある關係と炭礦地帯の産婆看護婦の受験者が毎回二百名を超えてゐる状態を以てこれを濱通り全般に通算すれば實に

二百名に達する状態なるに拘らず試験場所とならないので非常な不便を感じこれが試験の巡回施行に就て數年來關係者が盡力して居るが未だに實現されず爲に受験者中には經費の關係から水戸地方にゆく者が

相當に多くなつて居る傾向にあるので甚だ遺憾であるが今回伏見平町長伊藤平署長等が中心となり縣に平町に試験施行の運動

鶴屋の倉庫から

窃取した石鹼を

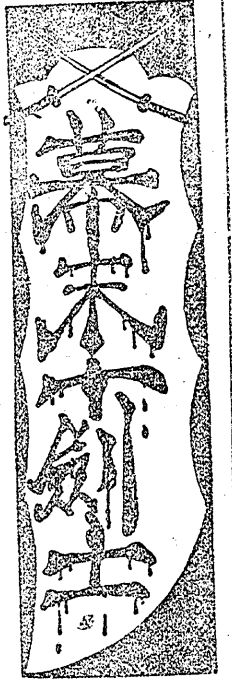
リヤカに乗せて安賣

去る十日夜平町四丁目洋品店鶴屋商店裏の同家倉庫に忍入り石鹼大箱八個(時價百卅圓)の品を窃取逃走せる者があつたので平署で嚴探中の 處昨夕五時頃北目地内をリヤカに積んだ石鹼を行商して歩く二名の青年を巡回の署員が不審に思ひ本署に引致取調ると前記鶴屋商店より窃せ

知合ひと なり二月末頃石城に入り込みゴム修繕をなすつゝ郡下を廻つたが思ふ様にゆかぬので石鹼泥棒に早變りしたのでであると

無一物男逃走

石城郡湯本町字矢吹材木商加藤初太郎(〇)は本月十日頃無一物で平町南町小松屋旅館に宿泊し宿料七圓を踏んで逃走したので詐欺罪として平署に取調中である



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

【第十席】

神影流の達人秋山要介

(10)

道場繁昌の動機

秋山要介と下男の治助は道場の繁昌するやうにと羽目を竹刀で打つてお面お小手などを云ひますが、何分弟子が附かない、すると秋山に奇怪なる動機に因つて秋山の偉い事が知れて俄に門人が附く事となつた、夫れはどのやうな事だといふに秋山の隣家に上野廣小路に店を開き居る藥種屋井口源右衛門の別荘がある、この井口は今店が無いが廿年許り前まで松阪屋の裏手にその子孫が居りました、文化、文政、天保年間に上野の井口と云へば江戸屈指の藥種屋此源右衛門におまざといふ今年十七になる娘がある、機織も美し豪家に人と成つた事とおつとりとして上品な所では井口の小町娘などと申してゐた、松平出羽侯の許に十二の時から奉公に出たが身體が悪くなつたのに就いて十六の十二月に下つて来て養生をしてゐる、大した病氣ではない、憂鬱症氣を晴らすが何よりの養生と醫者に云はれて遊びに連れて行くが面白くも思はぬ様子、と醫者が聲を出すを事なされ

たならば身體の爲になるだらうと云つた、然し長唄も出来れば琴、三味線も出来る、何ぞ遊藝の内でも變つたものを習はしたら宜からうと源右衛門夫婦はあれかこれかと選んだ末に一中節が



宜からとなつた、あれは粹で上品です、そこで一中節の上手な師匠をと下谷邊を捜したが見當りません、スルと或日店へ来たは蔦頭の勝五郎、此處はわ組の持です、奥へ行き勝「御新造さん御無沙汰をしました」

中節の師匠さんはあるまいか
勝「無い事はございませぬ然し一中の河東は旦那に習ふもので小哥哥のやうなかさつ者には縁の遠い藝でございませぬ、然し聞いておればいゝもの、一中節は眠くなるがア通人に習ふも

女「オヤ頭、過般鹿島様へ行つたとね」
勝「へエ講中で成田へ行きまして其序に板倉へ廻りあれから鹿島様と鹿取様へお参りをして一昨日歸つて来ました、これはつまらないものでございませぬが土産の印でございます」
女「氣の毒だねこんな物を貰つては、頭にお茶を上げな」
勝「イエもうお構ひ下さいませぬ」
女「時に頭様、お前は世間が廣いから何でも知つてゐるであらうが、此近所に一

女「ございませう」
女「おまさか稽古をしたいと云ふのだが、知つてゐる者があつたら世話をしておくれ」
勝「へエーお嬢さんが飛んだものがお氣に召しましたね」
女「心當りがあるかい、師匠は男の方がいいが、若い人は叶ない、六十ばかりで和尚さんの上りか極堅い人を頼みたいが」
勝「そいつはむづかしい御注文だ、寺の坊主に一中節を語る者はあります、え、一人あります、此奴は若いから、然し親孝行で近所でも評判が好うございませぬ、それに藝人らしい匂ひのしねえ奴で、どうもこの藝人といふ奴は卑しい處があつていけねえ、つまらねえ事を縁に金持へ出入りをして手拭などを持ち込み金を絞取り取らうとする、さもなければ少し賣れると大面をして此の世の中は自分の爲に出来たものだと思つてゐます、然し今お話申した其一中節の師匠は、そんな失禮な人間ではございませぬ、母親と二人で暮して居ます去年の七月親父は六十四で死にました、小哥哥は哀悼に行き人間の定命は五十年それが六十を越すまで生きてゐて死ぬ時には女房や子供の手から末期の水を貰つて佛になつたは宜い往生だと云ひますとね、左様ではございませぬ、せめては百歳まで生かして置きたいものでございませぬと云ひまし

た、茲で小哥哥にあんぶくしました」
女「なんだえ、あんぶくと」
勝「感心した事で」
女「厭だよ此の人は、それは感服だらう」
勝「エ、滅多にこんな詞は遣はねえから間違ひました女「その人は親孝行だね」
勝「變り者でございませぬ、藝人には珍らしい奴で」
女「親孝行をする者ならば堅いに相違ない、それでは其のお師匠さんを頼んでおくれ」
勝「承知しました、これから行つて來ませう」
茲で勝五郎は都吟中といふ一中節の師匠の許へ來ました。

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を...

大塚支店製靴部
電話七七番

難波醫院

平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番

お客様本位の...

好適の眼鏡

市原醫院

平町田町(電話一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

醫學博士廿推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

志賀齒科醫院
福島縣平町五ノ廿八

特別卸治 志賀齒科醫院
福島縣平町白銀町九
産婆 關口悦子

特別賣許 表價定

金拾參圓 藥及特效五週間分付
金拾圓 藥及特效五週間分付
金拾圓 藥及特效五週間分付